

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

H22. 1. 15

安芸地域本部

1 地域アクションプランの第3 四半期までの実施状況（総括）

(1) 総評

- ・全項目について、実行支援チームにより、支援及び進捗管理を実施。
- ・全体としては、概ね実施計画どおり進捗している。

〈農・畜産業分野〉

- ・「No.1 まとまりのあるナスの産地づくり」では、土佐あき地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会を定期的に開催し、学び教え合う仕組みを通じて、ナスの高収量農家が増加。
- ・「No.2 ユズを中心とした中山間地域の農業振興」では、北川村においてユズ搾汁施設を高度化し(H21. 10)、搾汁率や処理能力がアップ。
- ・「No.3 環境保全型農業のさらなる推進」では、ピーマンにおいて天敵導入農家率100%を達成。

〈林業分野〉

- ・「No.11 林業加工品の販売促進」では、エコアス馬路村において、新商品のデザインコンペを行い、6点のデザインを採択し、新商品の開発を進めている。また、既存商品・本年度試作した商品についても、国内展示会へ出展し、4件の新規契約につなげている。
- ・「No.9 上土佐備長炭販売促進事業」については、本年度から順次研修窯・共同窯を設置していくこととし、生産量の拡大と新規製炭者の確保を図っていくことに着手。

〈水産業分野〉

- ・「No.14 低価格な定置網漁獲物の販売戦略」では、水産加工業者が加工施設を整備し(H22. 3 完成予定)、漁協と連携して、シメサバを現地加工し販売を展開していくことに着手。

〈観光分野〉

- ・「No.22 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」により、東部地域の観光の底上げを図る取り組みとして、観光素材集を作成、素材集を活用した県外エージェント、マスコミへのPRを展開。
- ・また、「No.23 地質資源を活かした交流人口の増加」「No.26 龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等（安芸市）」「No.29. 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大」「No.34. 龍馬伝を活かした観光振興（北川村）」をメインテーマとして、環境整備、ガイド組織の育成、特産品の開発などを進めている。

・実施計画どおり進捗しなかったもの

- ・「No.5 土佐ジローの生産拡大」では、一部住民から計画への反対があり、さらなる臭気対策、代替地の可能性等について、事業主体、安芸市と検討している。
- ・「No.23 地質資源を活かした交流人口の増加(世界ジオパーク認証に向けた取組)」では、世界ジオパーク国内候補地に落選(H21. 10)。市・地元住民の中心活動の実績づくりに向けて再始動。

・補助金及びアドバイザーの導入状況(H21. 11 末 件数)

	農畜産業	林業	水産業	商工業	観光	計
県産振補助金	1	3	1		6	11
その他の県総合補助金			3		3	6
アドバイザー	1		1		2	4

注:補助金については、産振補助金、各部の総合補助金に限ってカウント。

・第一回フォローアップ委員会(H21. 9)での地域アクションプランの修正等

- ・事業主体・事業内容を追加しプランを修正したもの5プラン(No 9. 14. 15. 25. 34)
- ・ランクアップしたもの2プラン(No 14. 34)

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況(課題、結果、成果等)
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化 「No.1 まとまりのあるナスの産地づくり」</p> <p>「No.2 ユズを中心とした中山間地域の農業振興」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内で学び教え合う場 20ヶ所設置 ・ナスの高収量農家 59戸 → 62戸 ・21園芸年度ナス出荷量 前年対比 104% ・H21.9~10月ナス出荷量 前年対比 103% ・土佐鷹作付け面積 H21園年 16.5ha → H22園年 23.6ha ・ユズ搾汁施設(総事業費3億7359万)が10/26竣工(北川村) 搾汁実績11/30現在 1,884t(前年度総実績1,190t) 搾汁率(見込み) 16.9% → 18% ・生産履歴記帳率 H20 90.9% → H21 100% ・ユズ銀行を設立(北川村) 1組織(10月1日設立)
<p>環境保全型農業のさらなる推進 「No.3 環境保全型農業のさらなる推進」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土着天敵温存ハウス設置グループ H20年12グループ、58a → H21年17グループ、70a ・天敵導入農家率 ナス H20 25.6% → H21 30% ピーマン H20 95.5% → H21 100% ・エコシステム登録数 461戸(H21.10月末ナス・ピーマン) (前年同期 396戸)
<p>豊かな森林資源を活かす森林再生への取組 「No.8 林業再生事業(「森の工場」づくりなど)」</p> <p>「No.11 林業加工品の販売の促進」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業道開設のための提案書作成に着手 歩掛の精度の向上、進捗管理のための入力フォーム作成 ・段階的な森林GISデータベースソフトの導入を計画 →22~23年度に市町村エリア毎に整備 ・新商品の企画開発に着手(エコアス馬路村) デザインコンペ実施 54点応募 → 6点採択試作品(H21.12) 既存商品及び本年試作した商品の国内外の展示会への出展 インテリアスタイル展(6/3~5) 125名来場(東京ビックサイト) IMPORT PRO EX GO出展(11/11~13)(東京ビックサイト) メゾン・エ・オブジェ出展予定(1/22~26)(フランス) 新規顧客との契約 4件(既存商品)
<p>漁家所得向上への取組 「No.12 キンメダイのブランド化に向けた取組」</p> <p>「No.14 低価格な定置網漁獲物の販売戦略」</p> <p>「No.15 新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上」 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キンメ脂肪含量測定経費を確保 →測定データを蓄積し、ブランド化の検討材料としていく ・水産加工業者と漁協が連携して、まずシメサバ加工から着手 原魚サバ約200t/年の現地加工、販売額約1億円を目指す ・漁村女性起業化グループ(シラス)の誕生(H21.5)と活動の活発化 アドバイザーを活用し、新たな加工品を開発(シラス佃煮) 地元量販店等での実演販売活動を実施 ・深海縄操業技術について、青年漁業者を主体とした研究会を設立 アカムツなどの深海魚の操業技術を習得するため、アドバイザーを活用。
<p>1.5次産業化の推進 「No.21 道の駅「田野駅屋」の機能強化」</p> <p>「No.6 特産品「イチジク」による地域の活性化」 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加工品開発を委託(田野町)受託事業者において、職員2名雇用、アドバイザー1名と契約 加工品2品目を開発(たのかつ、鯖コロッケ)、田野駅屋にて販売開始 ・イチジク苗木の無償配布(奈半利町)(20本/戸以上) イチジク新規栽培予定者 5名、27a、307本(H22.3定植予定)

<p>広域的に連携した観光の仕組みづくり 「No.22 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材集の作成(H21. 11) 広域観光 DVD の作成(年度内完成) ・龍馬であい博の県外 PR キャンペーンへの参加(H21. 10～12 月) ・東部交通において1名専従職員の確保を決定(H22. 4～) ・素材集を活用した県外エージェント等への PR 展開(H21. 11～3 月) <p>東京：エージェント 32 (営業所+商品造成部門)、大手マスコミ 10 社 関西：エージェント説明会(20社44名)、同営業所 17 店舗、 大手マスコミ 2社 山陰：エージェント営業所 28 店舗</p>
---	--

② 上記以外で特に動きのあった取組

地域アクションプランの項目名	取組状況(課題、結果、成果等)
No.5 土佐ジローの生産拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会の開催の実施 事業主体(H21. 4)市と事業主体(H21. 9) ・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・計画に対する反対者への対応 計画鶏舎の臭気対策への理解 個別訪問し、説明と協力依頼 既存鶏舎の臭気の更なる軽減と環境美化対策の実施 飼料添加剤を添加、床面に植物活力剤を散布 鶏糞をこまめに堆肥舎へ搬出 鶏舎の周囲に花やプランターを設置 代替地の検討 代替候補地の選定と地権者交渉 ・事業費の増加(代替地可能の場合)
No.9 上土佐(かみとさ)備長炭販売促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体を室戸市・東洋町のそれぞれの生産者組織とする。 ・研修窯(室戸市4基)、共同窯(室戸市2、東洋町4基)の設置を計画 ・室戸市 72t、東洋町 115tの増産と 室戸市 8人、東洋町 6人の新規製炭者の育成を目指す ・東洋町では生産者組合の組織強化 事務員の雇用(22年4月予定)
No.23 地質資源を活かした交流人口の増加 (世界ジオパークに向けた取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオガイド育成研修を(全10回)開催 新規認定14人 総数21人 ・遊歩道及び案内板の整備に着手(～ H22年までに順次) ・ホームページの作成(H21. 12) ・教育用・観光用 DVD の作成(年度内完成) ・展示施設の整備(H22. 2 完成予定) ・外国人観光客対応案内システムの整備(11月完成) 県内ALTなど40名が体験参加 ・課題 世界ジオ国内候補地落選 市・地元住民の中心的活动と実績づくり ・ジオツアー参加者 500人

<p>No.29 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流 人口の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財指定記念シンポジウム、見学会の実施(H21. 10) ・林鉄のガイド研修会 3 回開催、他の研修会への参加等 ガイド数 15 名 ・ホームページの作成・案内看板の設置(19 箇所、年度内) ・モニターツアー2回実施(H21. 11 月と H22. 3 月予定) モニターツアー等の参加者 150 名 宿泊客 25 名 ・シンボルマーク商品作成(ガイド用スタッフTシャツ、ジャンパー) ・来年度、旅行代理店を通じたツアー予定 ・課題 5 加町村広域の事務局機能の整備
<p>No.26 龍馬伝に関連した特産品開発や周遊 ルートの確立等(安芸市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はばたけ弥太郎・龍馬伝」安芸市推進委員会の活動活発化 とっとり酒「えい彌」、ゆず和菓子「弥太郎くん」等特産品5品目の開発 ・サテライト「こころざし社中」の整備 ・弥太郎生家、土居廓中など主要観光スポットの説明看板等を整備 ・広域周遊バスの運行(H22.1~) ・タクシーを活用したコース設定 2コース(周遊観光タクシー) ・レンタサイクル等周遊ルートを設定 ・ガイド研修(7 回開催)の充実によるガイド体制を強化 総数約 50 人
<p>No.34 龍馬伝を活かした観光振興(北川村)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬伝慎太郎推進協議会設立(H20.12) ・中岡慎太郎館のリニューアル(H22.1 予定) ・中岡慎太郎館のリニューアルにあわせた企画展の開催 ・幕末体験村の実施(現在は試験的に開催) ・ゆずサイダーであい博館の開発(龍馬伝関連)

2 地域アクションプランへの追加・修正(予定)項目等

(1) 地域アクションプランの追加検討項目(案)【※資料1(有望素材シート)資料2(H22追加線表)参照】

○地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化

(2) 地域アクションプランの修正項目

別紙 資料7のとおり

(3) その他

地域本部への相談

	農畜産業	林業	水産業	商工業	観光	計
件数	3	4	2	2	1	12
内アクションプランに反映 (予定)			2	1		3

3 地域アクションプランの削除(予定)項目

22年度に向けての地域アクションプランの削除項目 該当なし